



AMERICAN EXPRESS SAFEKEY® 2.0

貴社の事業と顧客をオンライン上の不正から保護。

保護のレベルを強化。

American Express SafeKey 2.0は、当業界の主要な組織が共同開発したグローバルな業界標準であるEMV® 3-D Secureをベースにしています。SafeKeyは、オンライン決済環境が絶えず進化を続ける中、不正を防止し、消費者の要望に合った形で（モバイル デバイスなどを使用して）ショッピングを行えるように設計されています。

加盟店とイシュアは、American Express SafeKey 2.0を使用することでさまざまな情報を交換し、豊富なインテリジェンスを取得して、不正を低減することができます。これにより、カード会員は安心してeコマース取引を行えるようになります。追加機能^{*}には以下があります：

- ・ ブラウザでのショッピングに加えて、アプリ、スマートフォン、その他のデバイスを使用したブラウザー以外でのショッピングもサポート
- ・ 加盟店のアプリおよびブラウザベースの決済画面に直接統合可能
- ・ トーケン利用の普及に対応するため、トーケンベースの取引をサポートしてセキュリティを強化
- ・ デジタル ウォレットに対するカードのプロビジョニングなど、決済を伴わない本人認証に対応
- ・ 加盟店が本人認証を起動する機能（公共料金、継続的な支払い、郵送、または電話による通信販売などの決済に関する本人認証）
- ・ カード会員の決済フローの改善と利用体験の向上
- ・ PSD2 (EUIにおける改正決済サービス指令) に対応

^{*}機能はバージョンにより異なります。

EMV®は、米国およびその他の国における登録商標ですが、一部の国では未登録商標です。EMVはEMVCoの商標です。



SafeKey®

SafeKeyのメリット

改良され、より安全になったオンライン ショッピング体験をすべての利用者に



加盟店



イシュア



カード会員

シンプルかつ標準化されたアプローチを通じてカード会員の本人認証を行うことで、不正のリスクや購入の中止を最小限に抑制

豊富なデータに基づいて、認証を簡素化

Card Not Presentの取引およびアカウント認証の潤滑性、利便性、安全性を強化

American Express SafeKey®の比較図表

機能	SafeKey 1.0	SafeKey 2.0	
		SafeKey 2.1 (EMV 2.1.0)	SafeKey 2.2 (EMV 2.2.0)
業界標準の3-D Secureベース	■	■	■
決済時のセキュリティを強化	■	■	■
支払い認証	■	■	■
ブラウザベースの認証	■	■	■
さまざまな認証方式を使用可能（ワンタイムパスコード、リスクベースの意思決定など）	■	■	■
PSD2コンプライアンス対応	■	■	■
円滑な認証を可能にする幅広いデータ要素をサポート	米国および米国の海外領土で使用可能		■
アプリベース（アプリ内）ショッピング対応	—	■	■
決済を伴わない本人認証	—	■	■
トークンベース取引	—	■	■
リスクベース認証（追加認証）機能	—	■	■
加盟店が起動する本人認証	—	—	■
分離型認証	—	—	■
PSD2追加インジケーター	—	—	■

注記: 一部の機能については、追加認証が必要になる場合があります。